

2023年7月18日

各位

株式会社スカパーJ S A T ホールディングス
代表取締役社長 米倉 英一
(コード番号: 9412 東証プライム市場)
広報・IR部長 高井 衆
TEL 03 (5571) 1500

**スカパーJ S A T と QPS 研究所
小型衛星運用業務に係る協業を開始
～衛星コンステレーション運用に向けて本格始動～**

株式会社スカパーJ S A T ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：米倉 英一）は、100%子会社であるスカパーJ S A T 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：米倉 英一）が、添付の通り株式会社 QPS 研究所（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：大西 俊輔、以下 QPS 研究所）と QPS 研究所が開発する小型 SAR※1 衛星の運用業務について協業を開始する契約を締結いたしますことをお知らせいたします。

（※1）SAR（合成開口レーダー）：電波を使用して地表の画像を得るレーダー。雲や噴煙を透過し、昼夜を問わず観測することができる点が特長です。

以上

<お問い合わせ先>

株式会社スカパーJ S A T ホールディングス／スカパーJ S A T 株式会社 広報・IR部
TEL: 03-5571-1500 (IR担当) / 03-5571-7600 (広報担当) E-mail: pr@sptvjsat.com

2023年7月18日

報道関係各位

スカパーJSAT株式会社
株式会社QPS研究所

スカパーJSATとQPS研究所 小型衛星運用業務に係る協業を開始 ～衛星コンステレーション運用に向けて本格始動～

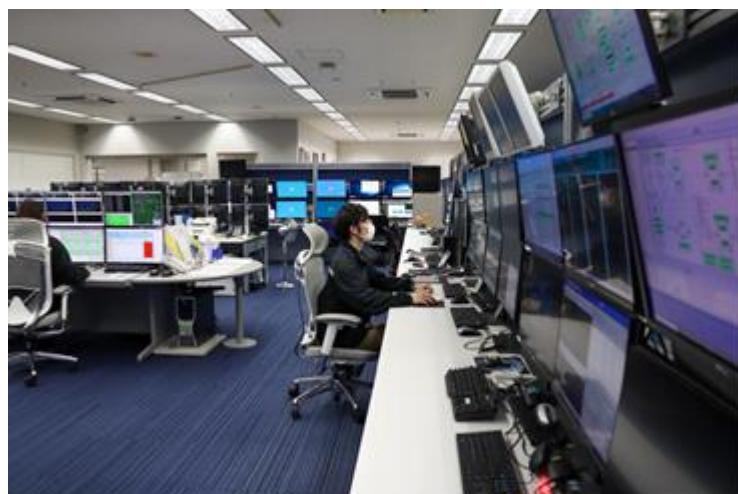
スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：米倉 英一、以下スカパーJSAT）と株式会社 QPS 研究所（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：大西 俊輔、以下 QPS 研究所）は、QPS 研究所が開発する小型 SAR^{※1}衛星の運用業務について協業を開始する契約を締結いたします。30 年以上の衛星運用実績のあるスカパーJSATが QPS 研究所の小型 SAR 衛星の運用業務を担い協業することにより、日本企業発の衛星コンステレーション^{※2}の早期実現を目指します。

地球上の広範囲を周期的かつ自動的に観測可能な小型衛星コンステレーションの構築は、防災、環境、安全保障などの分野で活用が期待されており、持続可能な社会づくりにおいても重要な役割を果たすとされ、政府による民間支援の取り組みも加速しています。また、QPS 研究所は、早期のコンステレーション構築に向け、積極的な衛星打上げを計画しています。

世界トップレベルの小型 SAR 衛星の開発・運用を行う QPS 研究所は、平均 10 分ごとの準リアルタイム地上観測データサービス提供を目指し、36 機の小型 SAR 衛星コンステレーションの構築を進めています。直近では 2023 年 6 月 13 日（日本時間）にスペース X 社のファルコン 9 ロケットによって、コンステレーションを成す最初の小型 SAR 衛星となる QPS-SAR6 号機「アマテル-Ⅲ」を打上げ、同日に初交信に成功。1 ヶ月後の 7 月 13 日（木）に初画像を公開し、順調に衛星の初期運用を進めています。

スカパーJSATは、1989 年に日本初の民間による通信衛星を打ち上げて以来、「宇宙実業社」として様々なビジネスを牽引してまいりました。衛星の運用業務においては、自らが保有する衛星だけでなく受託衛星の運用も含め、累積 30 機以上の衛星を安定運用してきた経験を有しております。

今回の協業により QPS 研究所は、これ



図：スカパーJSAT横浜衛星管制センター内の管制室の様子

まで同社で担ってきた衛星運用業務を、長年 24 時間 365 日体制で稼働してきたスカパー J S A T の衛星管制局へ委託することで、より効率的かつ信頼性の高い衛星運用を実現することができます。また、人的コストや実績が重視される運用業務をスカパー J S A T がサポートすることで、QPS 研究所は、高性能な小型衛星の更なる開発・設計・製造、及びデータサービスの拡充と提供に注力することが可能となります。そして、スカパー J S A T としても本協業は、今後も多数の打ち上げと拡大が予測される低軌道衛星ビジネスにおける衛星運用受託サービスの契機となります。

スカパー J S A T と QPS 研究所は、2021 年 12 月の業務提携開始以降、主に事業面での様々な連携を進めてまいりましたが、技術・運用面での連携についてもさらに強化をすべく協議を重ね、その結果今回の衛星運用業務の受委託が実現しました。スカパー J S A T が築いた衛星管制および運用体制による実績は、高い専門性と豊富なノウハウを蓄積し続けるチームの育成と継承のあらわれ、かつ、他社に類を見ないレガシーであり、本協業は QPS 研究所が目指す「準リアルタイム観測データ提供サービス」の実現に向け、確実、かつ大きな推進力を生み出します。両社は今後もパートナーシップを益々強化し、互いのシナジーを最大化すべく連携を深めるとともに、小型 SAR 衛星コンステレーションを活用した事業への取り組みを推進し、宇宙事業のさらなる発展を目指します。

(※1) SAR (合成開口レーダー)：電波を使用して地表の画像を得るレーダー。雲や噴煙を透過し、昼夜を問わず観測することができる点が特長です。

(※2) 複数の人工衛星によって、高頻度な地球観測を可能とするシステム。(コンステレーションは「星座」の意。)

■各社コメント

スカパー J S A T 宇宙事業部門 宇宙技術本部 衛星運用部長 長井 広明

「QPS 研究所が推進する SAR 衛星による地球観測データは、災害時の状況把握や重要インフラのモニタリングをはじめ、様々な場面での活用が期待されるサービスです。準リアルタイムでデータを取得するためには、コンステレーション構築が不可欠です。30 年以上に亘り 24 時間 365 日の効率的、かつ信頼性の高い、安定した衛星管制を行ってきたスカパー J S A T の衛星運用が、このコンステレーションの構築、維持、更には拡張に大きく貢献出来ると確信しています。」

QPS 研究所 開発部 担当部長 深井 祐介

「これまで QPS 研究所では、開発エンジニアが衛星運用も担当していましたが、衛星コンステレーションによるサービスを高いレベルで維持するためには 24 時間体制を含めた安定した衛星運用が不可欠です。多数の衛星運用の実績があるスカパー J S A T 様との協業は、両者の得意分野をそれぞれ伸ばしあうことができると考え、これまで実現に向けて準備を進めてまいりました。このたび QPS-SAR6 号機の初画像取得に続いて協業を発表することができ大変嬉しく思います。QPS 研究所はこれまで以上に成長できると確信するとともに、尽力くださったスカパー J S A T 様に改めて心より感謝申し上げます。」

■各社概要

スカパー J S A T 株式会社

本社 : 東京都港区赤坂 1-8-1

代表者 : 代表取締役 執行役員社長 米倉英一

設立 : 1994年11月10日

事業内容 : 宇宙事業、メディア事業

ホームページ : <https://www.skyperfectjsat.space/>

株式会社QPS研究所

本社 : 福岡市中央区天神1-15-35 レンゴー福岡天神ビル6階

代表者 : 代表取締役社長 CEO 大西俊輔

設立 : 2005年6月

事業内容 : 人工衛星、人工衛星搭載機器、精密機器、電子機器並びにソフトウェアの研究開発、設計、製造、販売

ホームページ : <https://i-qps.net/>

QPS研究所が発表する一連のニュースは以下のサイトにてご確認いただけます

<https://i-qps.net/news/news/>

■ 関連プレスリリース

[スカパーJSATと株式会社QPS研究所 小型SAR衛星コンステレーションを活用した事業の拡大に向け業務提携 | スカパーJSAT | スカパーJSATグループ \(skyperfectjsat.space\)](#)

[株式会社QPS研究所による追加資金調達ラウンドへの参画 | スカパーJSAT | スカパーJSATグループ \(skyperfectjsat.space\)](#)

以上

【 本件に関する報道関係のお問い合わせ先 】

スカパーJSAT株式会社 広報・IR部 : 03-5571-7600 E-mail : pr@sptvjsat.com

株式会社QPS研究所 有吉・久原 Tel : 092-751-3446 E-mail : press@i-qps.com